ここが聞きたい!!

7名が登壇

CO_2削減、省エネの取組みは？

小田貞利議員

問 大型台風、大型ハリケーンの多発は、温暖化の影響が大きいと言われている。北海道で良質の米が穫れはじめていると聞くし、大島沿岸でも南洋の魚が見られるようになっており危機感をいだく現状。環境問題は、世界的な大きな問題として、各国各地で議論され、さまざまな取組みがなされているが、本町での取組みを問う。

答 （町長）以前から地球温暖化による地球環境への悪影響が指摘されている。地球温暖化は、日常生活や事業活動から排出される温室効果ガスが原因のため、すべての人々が温室効果ガスの排出を削減するライフスタイルや社会システムの構築が急務。具体的な取組みとして「緑のカーテンの設置」「レジ袋削減のためのエコバック普及」「ノーマイカーデーの実施」「アイドリングストップ等エコドライブの実践や啓発」等々各地で具体的な取組みがなされている。町としては、省エネ、CO_2削減など地球温暖化対策の必要性は充分に認識している。当面は町民への情報提供や、意識や知識の高揚、啓発等が中心となるが、将来的には、各地での取組みや対策を具体的に実践し、地球環境の保全に努めていきたい。

緑のカーテン（東和中）

町政転流(9)

安心のまちづくりに向かって防災施設をさらに充実！

６月初旬から屋外の新設防災無線の試験供用が開始され、従来屋外設備のなかった東和地区では「こちらは防災周防大島町です」という枕詞が、耳新しく山々にこだましている。

平成19年３月の定例議会において、工事費６億7,809万円を承認。屋外設備109本の設置が開始され、本年８月から正式に屋外無線放送が始まる。併せて、屋内個別受信機の設置が始まり、約１年間を掛けて無償供与が完了する予定で、災害時にまずは情報面での対応が一段落することになる。

また11月には、久賀地区・旧久賀グラウンドに山口県大島防災センターが竣工予定である。同センターでは、地震・津波の仕組みを学ぶことが出来る模型の展示等、防災教育啓発用の体験教育設備もある。町内だけでなく県民向け災害体験施設としても活用予定であり、本町にとっては災害発生時の拠点として重要な施設となる。

最近は、ミャンマーでの大水害、中国四川省での大地震そして岩手・宮城内陸地震と、自然の猛威による災害が続いている。東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定される本町にとって、心強い施設の完成を喜びたい。

【屋外防災無線設置状況】

地区名	大島地区	久賀地区	橘地区	東和地区
設置数	46 (新設1)	14 (新設1)	19	30 (全て新設)